

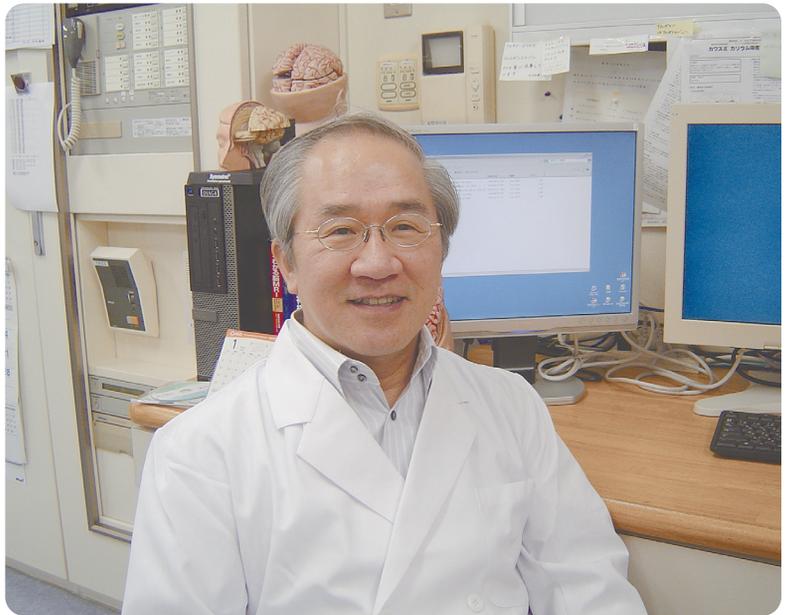
2014年
3・4月号
Vol.8

幸義会だより

岡山東部脳神経外科

常勤医師だより

麻酔科医長 五藤 恵次



皆様初めまして、麻酔科の五藤恵次です。私は岡山東部脳神経外科の開院時から非常勤として当院の全身麻酔を担当していましたが、昨年10月より常勤の麻酔科医として働いています。この「幸義会だより」は初めて担当させていただきますので、地域の皆様や医療関係者の方々へのご挨拶として、まずは自己紹介をさせていただきます。

私は岡山市の出身で、当院の滝澤理事長とは岡山大学医学部時代の同級生です。1980年の卒業後に母校の麻酔・蘇生学講座に入局し、岡山大学病院や幾つかの病院で研鑽を積みました。約2年間の米国留学から1990年に帰国し、昨年未まで20年以上にわたって岡山大学病院で働いてきました。専門は麻酔科学と集中治療医学です。皆様にはなじみの少ない分野ですので簡単にご説明します。麻酔科医は患者さんごとに最も安全と考えられる麻酔方法を選択し、手術中とその前後も含めて患者さんの循環や呼吸などの全身状態をできるだけ良好に維持・管理することを専門としています。ここ20年間で全身麻酔は着実に進歩し、その危険性は小さくはなっています。しかし一方で、現在は非常に多くの方が高血圧、糖尿病、肥満、喫煙、心臓病などの疾患を有しており、これらは全て麻酔管理上の大きなリスクとなり、全

身麻酔や手術によって合併症が発生する危険性が高くなります。手術や麻酔の安全性を高めるためには、患者さん自身も健康管理に努めていただくことが重要です。集中治療とは内科系、外科系を問わず呼吸や循環代謝などが重篤な急性機能不全に陥った患者さんに対して強力に集中的に治療と看護を行うことです。多くの患者さんは人工呼吸器を長期必要とします。集中治療医学の進歩によって、非常に重篤な患者さんを救命することができるようになってきています。私はこれまでに様々な病気を抱った患者さんの麻酔と集中治療に携わってきましたが、ここ十年間は肺移植手術の麻酔と術後の集中治療を中心に据えています。本邦初の肺移植患者さんも含めて今までに百名以上（日本で実施された肺移植の約半数）の肺移植を担当し、非常に多くの患者さんが元気な日常を取り戻されていることは喜ばしい限りです。また、国際貢献と言うには微々たるものですが、アフリカ（3カ国、計4回）とスリランカでの医療支援も経験させていただきました。このように私が岡山大学病院在籍中に多くの貴重な経験と積むことができましたのは非常に多くの方々のご支援のお陰であったと感謝しております。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

私は滝澤理事長とのご縁もあって当院で働き始めましたが、入職の最大の理由は、理事長を始めとした東部脳神経外科の手術レベルが非常に高く、その恩恵を少しでも多くの患者が受けられるように麻酔科医としてバックアップできればと考えたからであります。実は、私の肉親も当院で大きな脳外科手術をしていただき、お陰様で現在も元気に暮らしております。私はこれまでの経験を生かして当院での麻酔管理を担当し、微力ながら地域医療に貢献できることを願っております。今後とも宜しくお願いいたします。

最後にこの場をお借りして麻酔科医として皆様にお願ひがあります。是非、禁煙をして下さい。あるいは、ご家族や患者さんに禁煙を勧めして下さい。喫煙のデメリットに関してはご承知のことと思いますが、喫煙による呼吸機能の低下は年々進行し、禁煙しても機能は回復せず不可逆性です。できるだけ早く禁煙することが何より大切です。さらに、全身麻酔を必要とする手術を受ける際には吸わない患者さんに比べて喫煙者は術後合併症（肺炎など）の発生率や術後死亡率が数倍から数十倍も高くなるのです。その危険性が高いため手術を断念していただかなければならない場合もあります。どなたであっても、いつ手術が必要となるかもしれません。手術前にはもちろん禁煙していただきますが、手術直前の禁煙では間に合わないことが多いのが実情です。皆様、よろしく願ひします。

『2月の研修医』



医師 谷 英典

はじめまして、この度1ヶ月間お世話になります初期研修医の谷英典と申します。僭越ながら自己紹介させていただきますと、私は東京で生まれ、大学まで東京で育ち、初期研修も実家からそれほど遠くない横浜で行ってきました。この度岡山という遠く離れた土地で研修はおろか生活することもはじめてであり、大変緊張した気持ちである一方、見知らぬ土地への希望にあふれた気持ちで参りました。私は何事にも没頭しやすい性格で、部活動は中学高校でテニス、大学ではヨットに勤しんできました。深いことはさほど考えないまま、人の役に立てる仕事につければという事で医師を目指し、様々な科で研修しているうちに循環器内科に興味を持ち、志すようになりました。来年度からは大学病

託児所「たんぽぽ」紹介

託児所たんぽぽでは、毎日元気いっぱいの子どもの声が響いています。

1月には「新年にこにこ会」をして、お正月ならではの簡単なゲーム遊びやお話を見て楽しみました。2月には節分、3月にはひなまつり会などをし、毎月の行事計画を立て、子どもたちが喜んで参加できるようにしています。

また、天気の良い日には、園庭で身体を思いきり動かしたり、近くに散歩に出かけ、川魚や虫、草花などの自然に触れ、季節を感じながら遊んでいます。

新しい年もスタートし、毎日が成長と変化の連続の子どもたち。一人ひとり、のびのびと健やかに成長することを願ひ、保育士一同、子どもたちと楽しく元気に過ごしていきたいと思ひます。



『1月の研修医』

医師 井上 彰子



神奈川県 神奈川県 横浜市 病院初期研修 医の井上彰子と申します。

貴院には地域医療の研修で平成26年1月にお世話になりました。

僭越ながら自己紹介させていた
だきますと、私は埼玉県で生まれ
育ち、中学・高校・大学は自宅か
ら東京の学校に通い、平成24年よ
り神奈川県横浜市で医師として働
き始めた若輩者です。私は体を動
かすことが好きで、大学では競技
スキー部に所属し、普段の日は筋
トレ、長期休暇になるとスキー合
宿にでかけるという学生生活でし
た。また、横浜市では1年に1回、
12月に横浜マラソンが開催されま
す。けいゆう病院で「けいゆうR
UNNERS」というチームを
作って、十数名のメンバーでその
横浜マラソンに挑戦し、10kmを完
走しました。

末筆となりましたが、1か月間
院内の諸スタッフの皆様には大変
ご迷惑をおかけしたと存じま
すが、大変貴重な研修をさせてい
ただきまして、誠にありがとうございました。
女性医師には珍しい
ですが私は手術や細かい手技・作
業に興味がありますので、貴院で
の診療は大変刺激的で魅力的な毎
日でした。岡山県には初めて訪れ
ましたが、風土豊かで、皆様とて
も温かく、瀬戸内海での釣りも経
験でき、大変居心地の良い1か月
でした。この経験を活かしてこれ
からも精進してまいりますので今
後ともよろしくお願ひ申し上げます。
機会がございましたら、ぜひ
横浜へ遊びにいらしてください。

心地良いリハビリのために

皆様リハビリテーションに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？「きつい」「痛い」というイメージをお持ちの方も多いのではないでしょうか。

当院では脳血管障害の患者様のリハビリテーションを中心に行っていますが、早期より快適で効果的な治療を行うよう心がけています。そのため療法士一人一人が基礎知識をより深めた上で研修会などに参加し治療技術を磨いています。

また当院でも外部からの講師を招いた研修会を年に2〜3回開き、患者様が早期に機能回復するための実際の治療手法を直接指導して頂いておられます。岡山県内だけではなく他県からも大勢の療法士の方が参加して下さり、活発な意見交換も行っております。

今後も近隣の療法士の方と一緒に勉強していく中で患者様の急性期から自宅復帰に向けた援助を連携して行っていききたいと思っております。



薬局より

毎年冬になるとインフルエンザが流行します。

現在、日本で承認されているインフルエンザ薬は5種類あります。

A型B型に効果がある1日2回経口するタミフル、1日2回吸入するリレンザ、これらはおおよそ5日間連続で服用します。

また吸入薬のイナビル、点滴薬のラピアクタは1回のみ投与で効果があります。ほかにA型にのみ効果がある経口薬のアマンタジンです。

これらの抗インフルエンザ薬は、インフルエンザウイルスの増殖を抑える薬です。いったん体の中に入っ

栄養部より

ひな祭りは、元々は老若男女関係なく、季節の変わり目に「身のけがれを祓い、健康に暮らせるように」と川で身を清めて汚れを祓うという神事だったそうです。それがいつしか、女の子たちの人形遊び「ひな遊び」と結びつき、紙人形などにけがれを移して川に流し、女の子の健康と幸せを願ったのがひな祭りの起源といわれています。

へひな祭りの食べ物に込められた意味

☆蛤（はまぐり）のお吸い物
蛤のお吸い物はひな祭りに欠かせない代表的な食べ物です。

蛤は平安時代の「貝合わせ」遊びで知られるように、対になっている貝殻でないとぴったり合いません。このことから、仲の良い夫婦を表しひとりの人と一生添い遂げるようにという願いが込められた縁起物です。

☆ひなあられ

ひなあられは餅を揚げて砂糖を絡めた、ひな祭り代表的なお菓子です。

3色のひなあられは、白（雪の大地）・赤（桃の花）・緑（若草）で春の訪れを表す縁起物、4色のひなあられは桃・緑・黄・白で四季を表していると言われ、どちらも娘の幸せを願う気持ちが込められています。

ひなあられは、サクサクと軽くて食べやすいお菓子ですが、主な材料は餅・油・砂糖のため、炭水化物・脂質の割合が多く、意外と高カロリーです。女の子はもちろん、つい手が伸びているお父さん・お母さんも食べ過ぎには注意しましょうね。

部署移動

事務 安井 美貴



1月より病棟クラークから受付業務をさせていたこととなりました。病棟では7年間業務をさせていたのですが、受付業務は全く違う業務でしたが、悪戦苦闘してはいますがみなさんに支えていただき、勉強させていただきました。入院された患者様が外来へ来られた際にはお声をかけてくださり、うれしく感じています。患者様にご迷惑をおかけしないよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

スタッフ募集

当院では現在、以下のスタッフを募集しています。
・病棟看護師（常勤・非常勤）
・外来看護師



当院スタッフ・Aさんからの声
私は岡山クリニック病棟として入職して4年半になります。

てをしているスタッフも多く皆で協力して頑張ってきた。急性期が不慣れな私にも先輩方が丁寧に指導してくださり、現在はやりがいを持って看護の仕事をする事ができています。またスタッフ同士は公私共によい関係が築けています。ぜひ私たちと一緒に働きましょうか？



当院スタッフ・Yさんからの声
私は学生の頃から脳外科で働く事を希望して、当院に就職し

早12年の歳月が流れました。その間結婚し、出産は3度経験して現在も育児と仕事の両立に奮闘中です。私がここまで仕事を続けてこれたのは同世代のスタッフに囲まれ、同じように育児と仕事に奮闘しながらも協力し合える仲間が恵まれたからだと思っております。忙しい事もありますが、とてもやりがいのある職場です。

五藤医師がBest Doctors In Japan 2012~2013に選ばれた。



当院、麻酔科医長の五藤恵次医師がベストドクターズ社のBest Doctors in Japanに引き続き選ばれました。

Best Doctors社は1989年にハーバード大学の医師によって設立され、医師同士による相互評価に基づいた調査を行っています。この調査は、Best Doctorsに選ばれた医師が「自身または家族の治療を自分以外の誰に委ねるか」という観点から他の医師について評価し、最終的に一定以上の評価を得た医師が選ばれる仕組みです。現在、日本では約5300名の医師がBest Doctorsに選ばれています。